令和３年度事務事業評価シート　（評価対象年度　令和２年度）

●基本情報

事業名(取組名)	シティプロモーション事業（利根町元気プロジェクト！）				評価番号	5-3-10-1・2	
担当課	まち未来創造課	係	シティプロモーション係	予算科目	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【５】みんなが主役でともに進むまちづくり			会計	【01】一般会計	
	基本施策	【３】町民参加を進める広報・広聴の推進			款	【0102】総務費	
	施策	【１０】まちの魅力を高めるシティプロモーションの充実			項	【010201】総務管理費	
	主な取組	①利根町元気プロジェクト！の推進			目	【01020106】企画費	
		②町公式ＳＮＳなどの活用によるまちの魅力発信			事業	シティプロモーション事業	

●計画　～PLAN～

根拠法令等	◉ なし　○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規　◉ 継続	事業開始年度	平成　29　年度　☐ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり（事業終了年度：令和　　年度）　◉ 単年度繰り返し　○ 単年度のみ		
実施手法（すべてチェック）	☑ 町が直接実施（直営）　☐ 委託〔☐ 全部委託　☐ 一部委託〕　☐ 補助金等 ☐ 町民協働　☐ 指定管理　☐ 事務局　☐ その他（　　）		
実施形態	☑町単独　☐国・県補助事業　☐国・県補助事業+町事業(上乗せ)　☐その他（　　）		
事業概要	子供や若い世代をターゲットに，町民の「元気」を資源としたまちづくり推進のため「利根町元気プロジェクト！」を推進し，町民参加型のイベント開催や，ＳＮＳ，広報媒体を活用した効果的なシティプロモーション活動を実施します。		

●実施　～DO～

事業業績	令和2年度は，町に対する関心，興味，愛着心の醸成を図るため，「利根町シティプロモーションセミナー2020」を開催し，163名の方に参加していただきました。 とね元気塾ワークショップ「利根の桜の花みこし」はこれまでの活動の様子や日比野克彦塾長の解説を入れた動画を作成し，役場イベントホールやカスミのイートインコーナー，ホームページ，ＳＮＳ等で動画配信を行いました。 都営地下鉄浅草線に半年間交通広告を掲出し，町の認知度の向上を図りました。

		主な歳出の節	平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
支出	内訳	7　報償費	199,544　円	14,553　円	294,565　円
		11　役務費	4,800　円	円	360,800　円
		17　備品購入費	84,758　円	230,823　円	173,996　円
		10　需用費	312,337　円	109,138　円	29,579　円
		12　委託料	899,640　円	円	円
			円	円	円
	事業費　計		1,501,079　円	354,514　円	858,940　円

		主な歳入の科目	平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
財源	内訳	国支出金	750,539 円	177,257　円	429,470　円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	750,540 円	177,257　円	429,470　円
	事業費　計		1,501,079 円	354,514　円	858,940　円

●評価　～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	◉ 貢献している　○ 見直す余地がある	
		理由	住民参加型のイベントやワークショップを開催することで，町への関心を深めることができていると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	◉ 妥当である　○ 見直す余地がある	
		理由	町と地域住民が一体となってイベントやワークショップを開催することから，町が主体で事業を行うことは妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	○ 余地がない　◉ 見直す余地がある	
		理由	住民参加型イベントやワークショップを開催すると共に，今後は，地域の魅力を印象付ける取り組みも必要だと考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	○ 可能性がある　◉ 可能性がない	
		理由	まちの魅力を高めるシティプロモーションの充実を図っていくためにも，当該事業の継続が必要だと考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	○可能性がある　○可能性がない　◉類似事業はない	
		理由	町への興味関心や町の魅力を高めることなど，シティプロモーション活動としての独自性があると考えます。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	◉ 余地がない　○ 余地がある	
		理由	イベントやワークショップなど，内容により事業費も変動することから，計画した内容に合わせ，事業費を計上していきたいと考えております。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	○ 適正である　○ 見直す余地がある ◉ 受益者負担を求める事業ではない	
		理由	受益者負担を求める事業ではありません。

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	継続　（ ○ 現状維持　○ 縮小　◉ 改善　○ 拡大　）　○ 休止　○ 廃止（終了）　○ 統廃合　○連携
	【理由】 今後も住民参加型のイベントやワークショップを開催し，その様子をＳＮＳ等を活用して情報発信を行い，町の魅力度と認知度の向上を図っていきたいと考えています。また，社会環境の変化に対応したイベントの形や，情報発信の方法についても検討していきたいと考えています。